

## 絡新婦の理 〈3〉



[絡新婦の理 〈3〉 下载链接1](#)

著者:京極 夏彦

出版者:講談社

出版时间:2006/2/16

装帧:文庫

isbn:9784062753166

「こうなったら仕方がない。望んで蜘蛛の罠に嵌ってやるんだよ」。絞殺魔が捕縛されてなお迷走する捜査を横目に重い腰をあげる京極堂。事件の構造は連続目潰し殺人とさながら合わせ鏡であると探偵・益田、刑事・青木に気づかせた古書肆は敵の術策を思う。当然、僕の動きも読み込まれているのだろうな一。

作者介绍:

京極 夏彦（きょうごく なつひこ、1963年3月26日 -

）は、日本の小説家、妖怪研究家、アートディレクター。世界妖怪協会・世界妖怪会議評議員（肝煎）、関東水木会会員、東アジア恠異学会会員。「怪談之怪」発起人の一人。北海道出身。専修学校桑沢デザイン研究所中退。代表作に、『百鬼夜行シリーズ』、『巷説百物語』シリーズなど。株式会社大沢オフィス所属。公式サイト「大極宮」も参照。

目录:

[絡新婦の理〈3〉\\_ダウンロード1](#)

标签

推理

怪談

评论

-----  
[絡新婦の理〈3〉\\_ダウンロード1](#)

书评

-----  
[絡新婦の理〈3〉\\_ダウンロード1](#)